

知立の地域特性（知立の統計に基づく経年変化分析結果）

知立の統計の推移をもとに、知立市の特性について整理をしました。

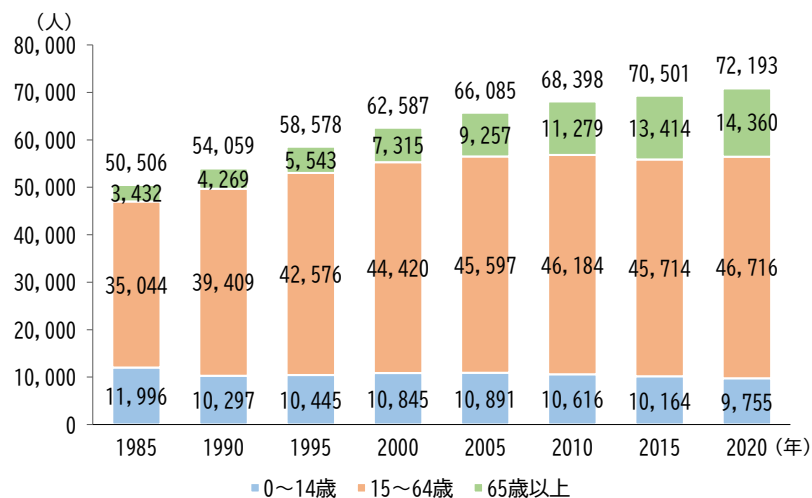
1-1 人口

(1)年齢（3区分）別人口

全国的には人口減少傾向にある中で、知立市の人口は断続的に増加しており、35年間で約22,000人増加しています。ただし、直近20年の人口増加は主に65歳以上人口によるものであり、0～14歳人口はやや減少、15～64歳人口は横ばいとなっています。

なお、直近5年の人口増加のうち、外国人人口による人口増加が7割近くを占めています。

図 年齢（3区分）別人口



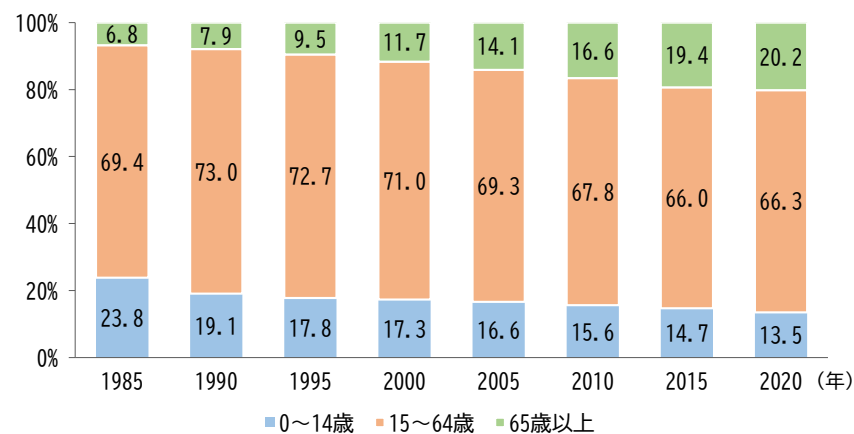
出所：総務省「国勢調査」（各年10月1日現在）

（注）総人口に年齢不詳者を含む

(2)年齢（3区分）別人口割合

人口割合は65歳以上が高まり、他の世代は低くなっています。2020年の65歳以上人口の割合（高齢化率）は20%となっています。

図 年齢（3区分）別人口割合

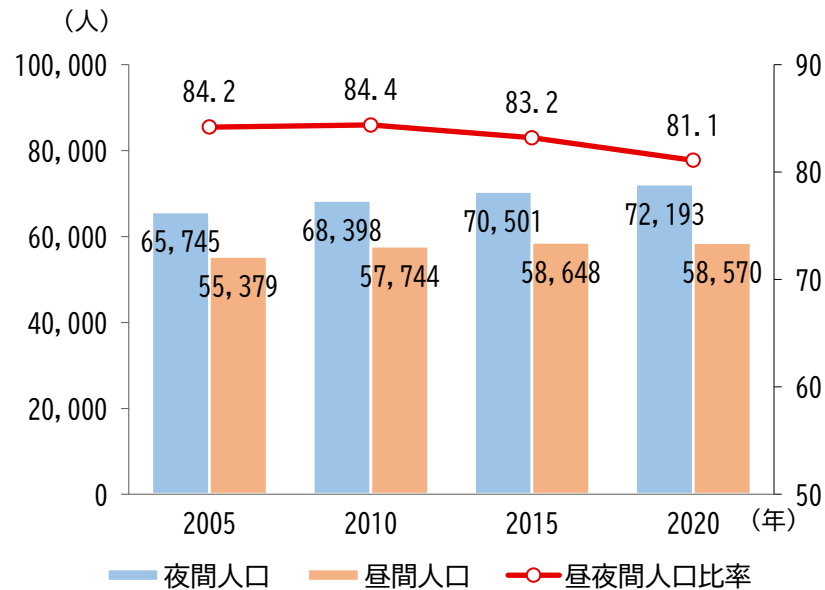


出所：総務省「国勢調査」（各年10月1日現在）

(3) 昼夜間人口比率

昼間人口、夜間人口はともにやや増加していますが、増加幅は夜間人口で大きくなっています。そのため、昼夜間人口比率は近年低下傾向にあり、ベッドタウンとしての性質が高まっています。

図 昼夜間人口比率



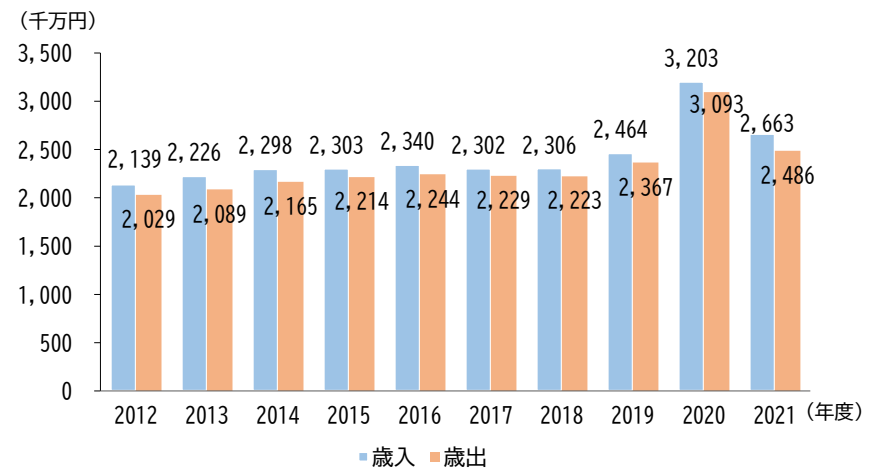
出所：総務省「国勢調査」(各年10月1日現在)

1-2 財務

(1) 歳出入 (一般会計)

これまで、歳入・歳出はともにやや増加してきています。2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり大幅に増加しています。2021年度は前年度よりは減少したものの例年よりも高くなっています。

図 歳出入 (一般会計)

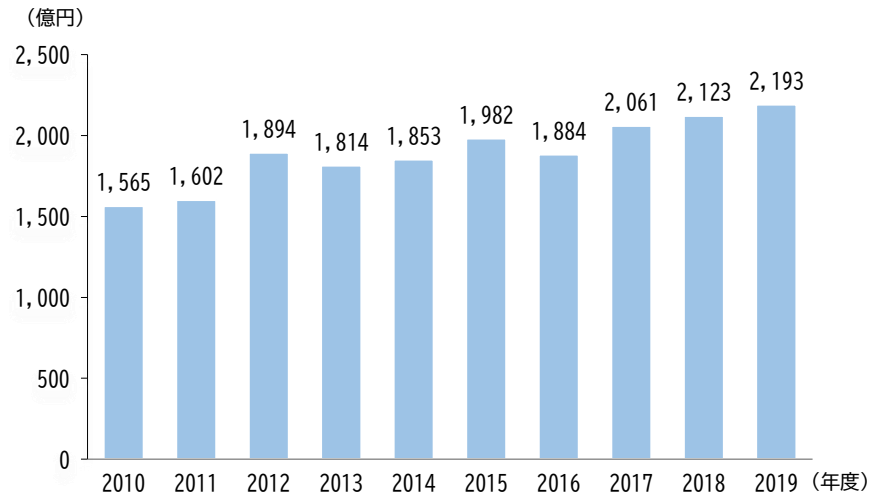


出所：財政課 (各年度中)

(2)市内総生産

市内総生産はこれまで増加しており、2017年度に2,000億円を超えています。内訳をみると、製造業や卸売・小売業、不動産業の経済活動が大きな割合を占めていることがわかります。

図 市内総生産



出所：市民所得推計（各年度中）

（注）市内総生産は、帰属利子を控除した金額。

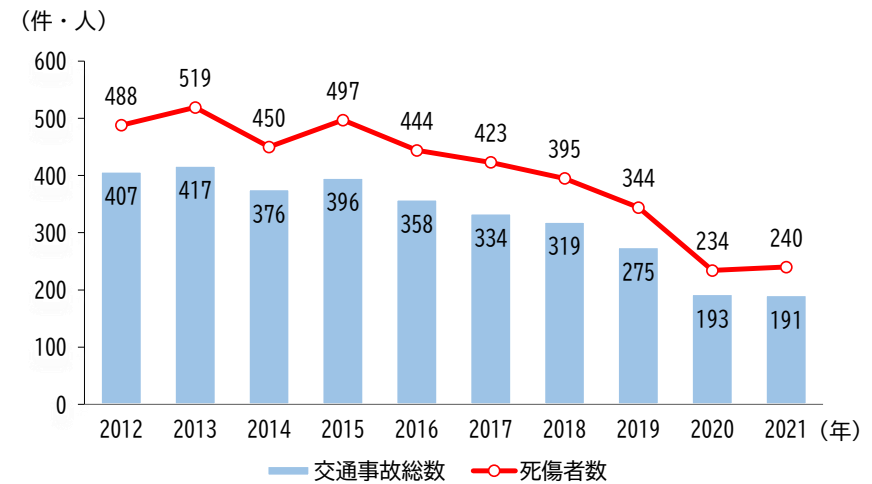
（注）2015年度より国際基準の改定により、区分を一部変更・追加

2-1 防災・安全

(1)市内の交通事故発生件数及び死傷者数

交通事故発生件数はこれまで減少傾向にあり、2020年には200件を下回っています。それに伴い、交通事故による死傷者数も減少しており、2021年には近年のピークであった2013年の半数以下となっています。

図 市内の交通事故発生件数及び死傷者数

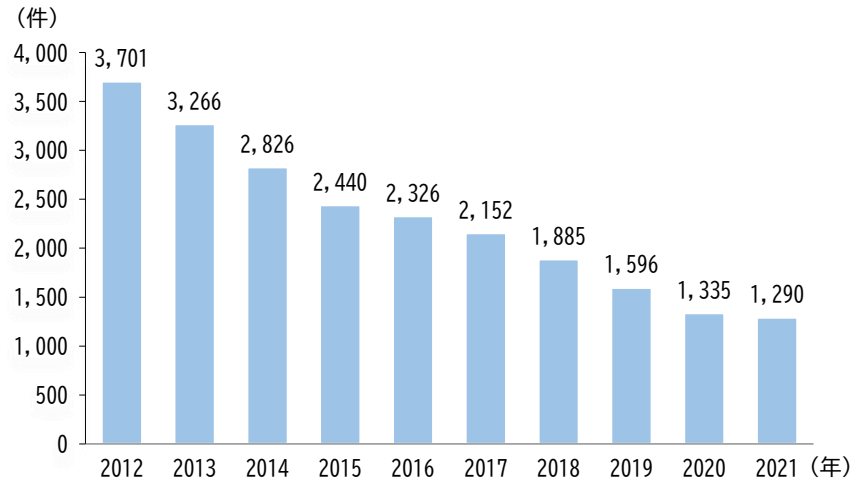


出所：安城警察署（各年）

(2)市内の犯罪発生件数

犯罪発生件数は近年、大幅な減少傾向にあり、10年間で約3分の1になっています。

図 市内の犯罪発生件数



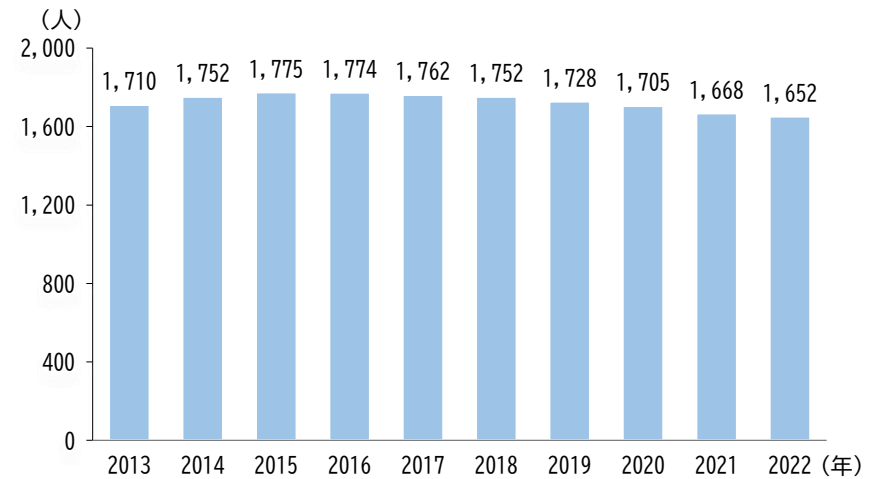
出所：安城警察署（各年）

2-2 福祉

(1)身体障害（児）者数

身体障害（児）者数は2015年までやや増加傾向にありましたが、それ以降は緩やかに減少しています。

図 身体障害（児）者数

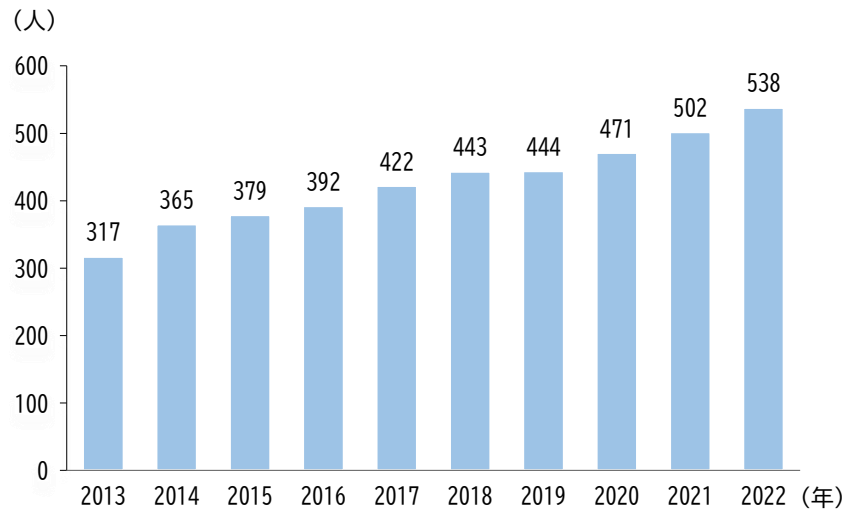


出所：福祉課（各年4月1日現在）

(2)知的障害（児）者数

知的障害（児）者数は一貫して増加傾向にあり、2021年に500人を超えています。2022年は2013年と比較して約1.7倍の増加となっています。

図 知的障害（児）者数

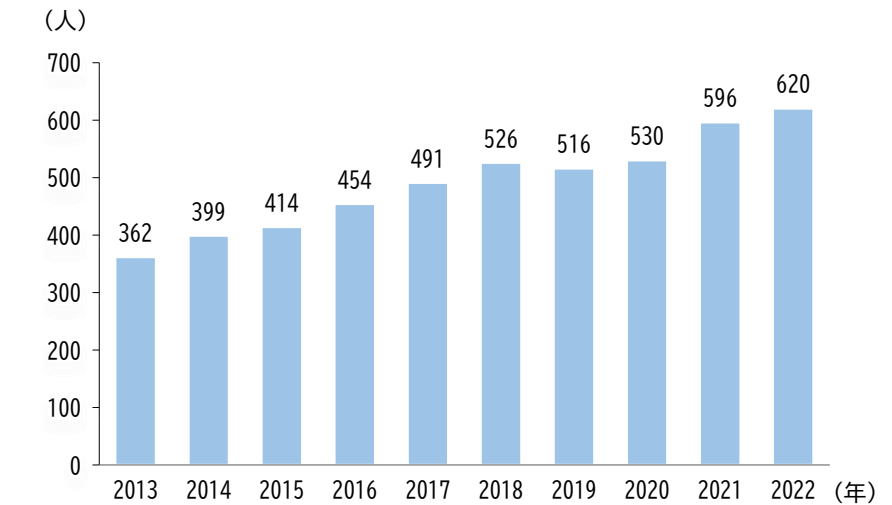


出所：福祉課（各年4月1日現在）

(3)精神障害（児）者数

精神障害（児）者数は概ね増加傾向にあります。2022年の総数は600人を超えており、2013年と比較して約1.7倍の増加となっています。

図 精神障害（児）者数



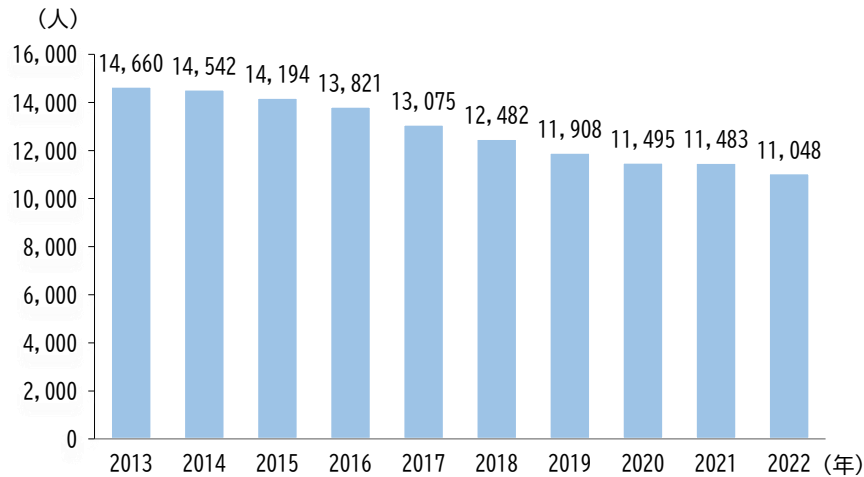
出所：福祉課（各年4月1日現在）

2-3 健康・医療

(1)国民健康保険被保険者数

2013年以降の国民健康保険被保険者数は一貫して減少しており、2022年の被保険者数は2013年と比較して4分の3程度となっています。国民健康保険を脱退して後期高齢者医療制度に加入する75歳以上の人口の増加や、健康保険組合や協会けんぽへの移行による減少と考えられます。

図 国民健康保険被保険者数



出所：国保医療課（各年4月1日現在）

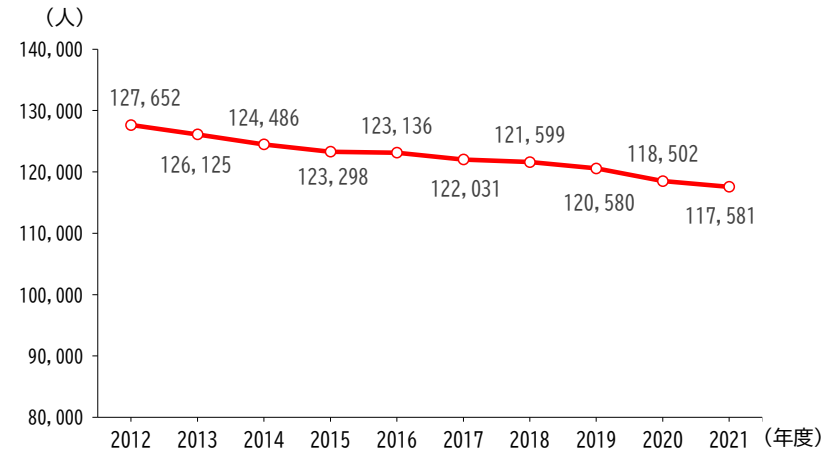
(2)福祉医療受給者数（延べ人数）

子ども医療の受給者数は対象となる15歳以下の人口が減少している影響もあり徐々に減少しています。

障害者医療の受給者数はやや増加傾向にあります。母子家庭等医療の受給者数は、緩やかな増加と減少がありつつも、全体としてはやや減少傾向にあります。後期高齢者福祉医療の受給者数については、2015年ま

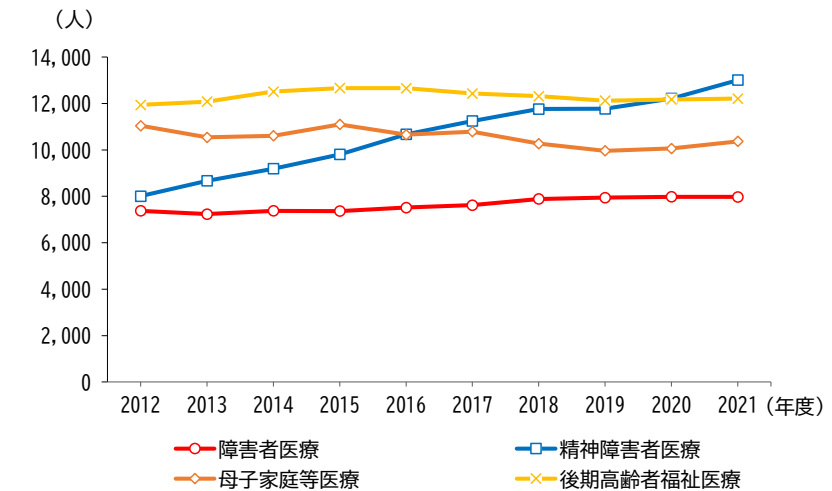
でやや増加傾向にありましたが、それ以降は緩やかに減少しています。精神障害者医療の受給者数は一貫して増加しており、2021年度の受給者数は2012年度と比較して約1.6倍の増加となっています。

図 子ども医療受給者数（延べ人数）



出所：国保医療課（各年度中）

図 その他福祉医療受給者数（延べ人数）



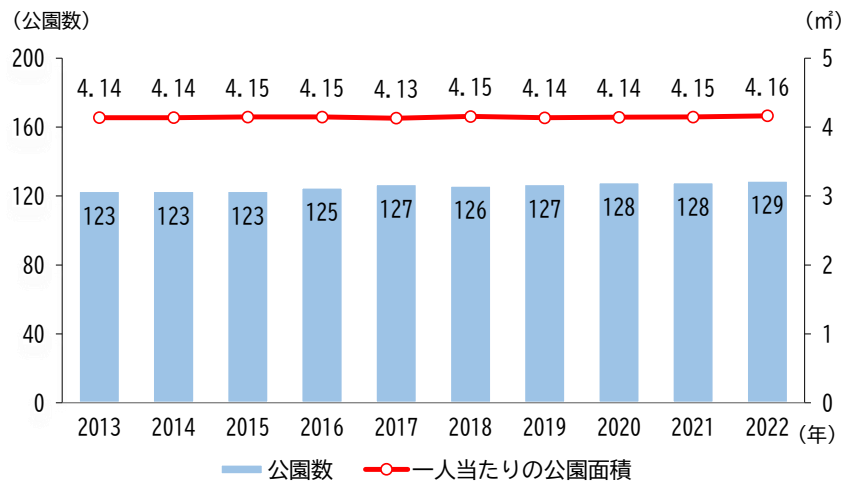
出所：国保医療課（各年度中）

3-1 住環境

(1)公園の数及び一人当たりの公園面積

公園の数は人口の増加に合わせてわずかながら増加しています。しかし、都市公園法施行令第一条の二において、都市公園の住民一人あたりの敷地面積の標準が10㎡以上であることを踏まえると、標準を大きく下回っていると言えます。

図 公園の数及び一人当たりの公園面積

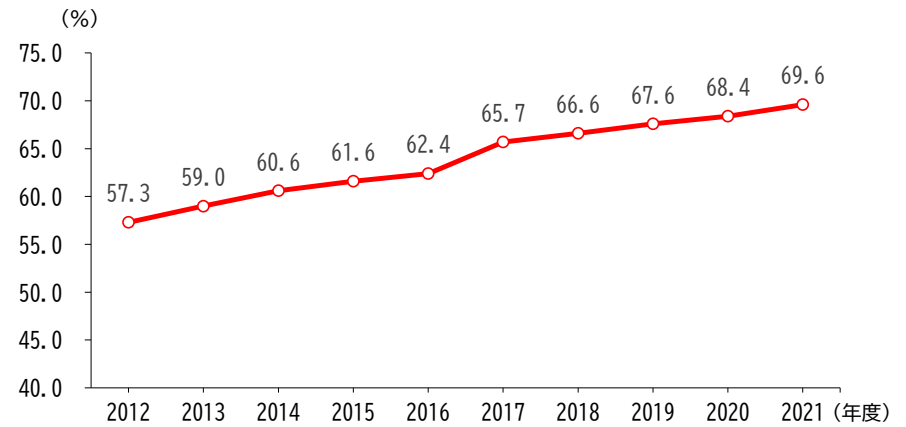


出所：都市計画課（各年3月31日現在）、総務省「住民基本台帳」（各年1月1日現在）

(2)下水道普及率

下水道普及率は一貫して上昇しており、2021年度時点で知立市の約7割で下水道の普及が進んでいます。2012年度以降の10年間で、普及率は10ポイント以上増加しており、急速に整備が進んでいることがうかがえます。

図 下水道普及率



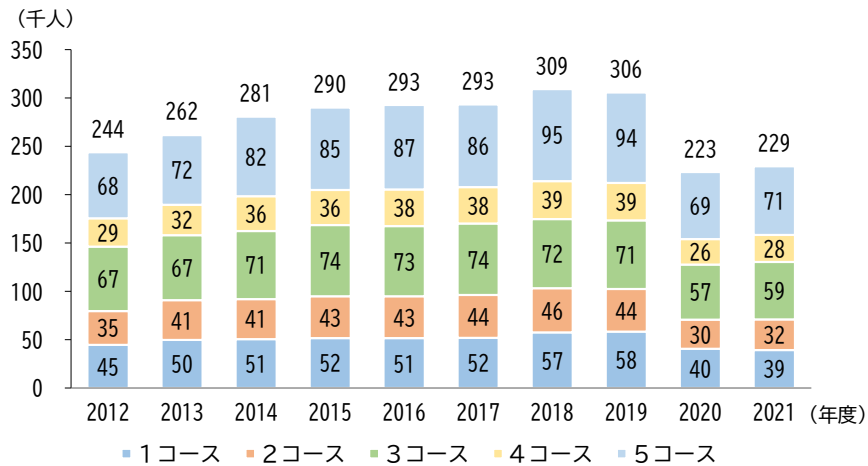
出所：下水道課（各年度中）

3-2 交通・産業

(1)ミニバスの年間乗車人員

ミニバスの年間乗車人員数は徐々に増加し、2018年度に30万人を超えました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度に前年度から3割近く減少しています。2020年度の減少をコース別にみると、3コースの減少は約2割で、他コースと比べて小さくなっています。

図 ミニバスの年間乗車人員



出所：まちづくり課（各年度中）

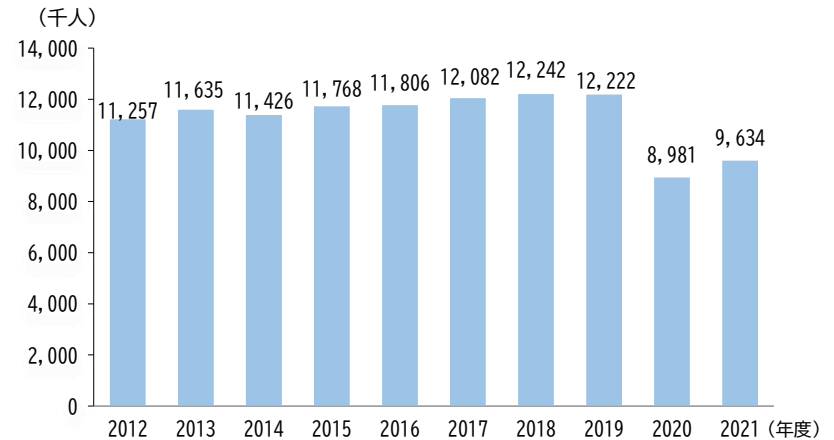
(2)各駅乗降客数

各駅の乗降客数は2019年度までは緩やかに上昇していたものの、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度と比較して各駅15%から25%程度落ち込みました。2020年度に乗降客数が一番大きく減少したのは知立駅で、前年度の4分の3以下に落ち込んでいます。2021

年度は乗降客数が各駅とも増加に転じており、乗降客数がやや回復しています。

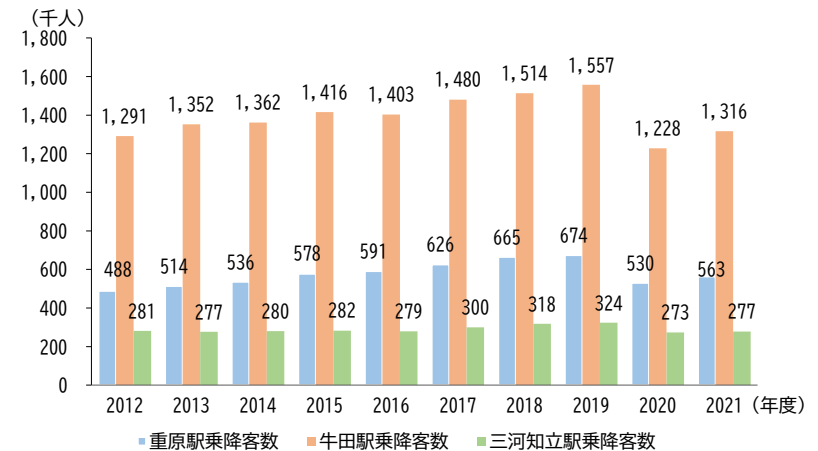
なお、知立駅の2021年度の1日当たりの乗降客数は2.6万人程度となっています。

図 知立駅乗降客数



出所：名古屋鉄道株式会社（各年度中）

図 その他駅乗降客数



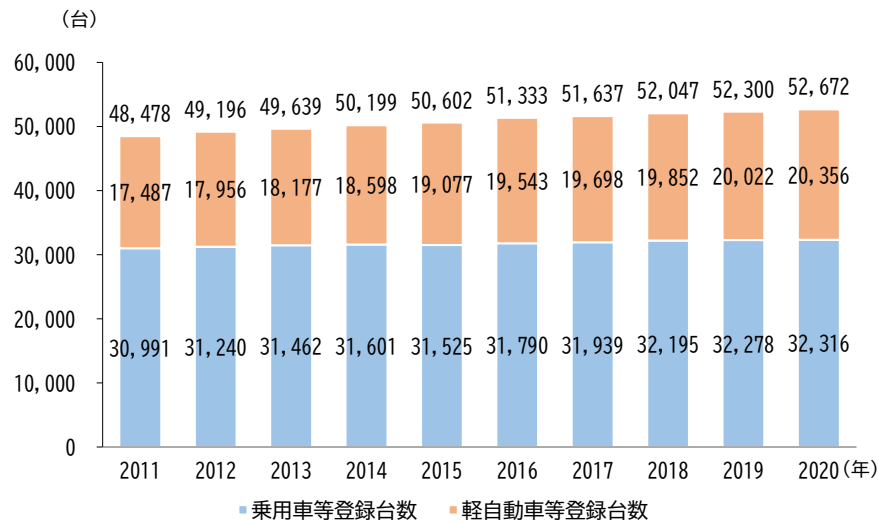
出所：名古屋鉄道株式会社（各年度中）

(3)自動車等登録台数

知立市の自動車等登録台数は緩やかな増加傾向が続いています。10年間の増加率は乗用車等登録台数が4%程度に対し、軽自動車等登録台数は16%程度と、軽自動車等登録台数の増加が目立っています。

また、2020年の世帯当たり自動車等登録台数は1.6台を超えており、市民生活に自動車が欠かせないものになっていることがうかがえます。

図 自動車等登録台数

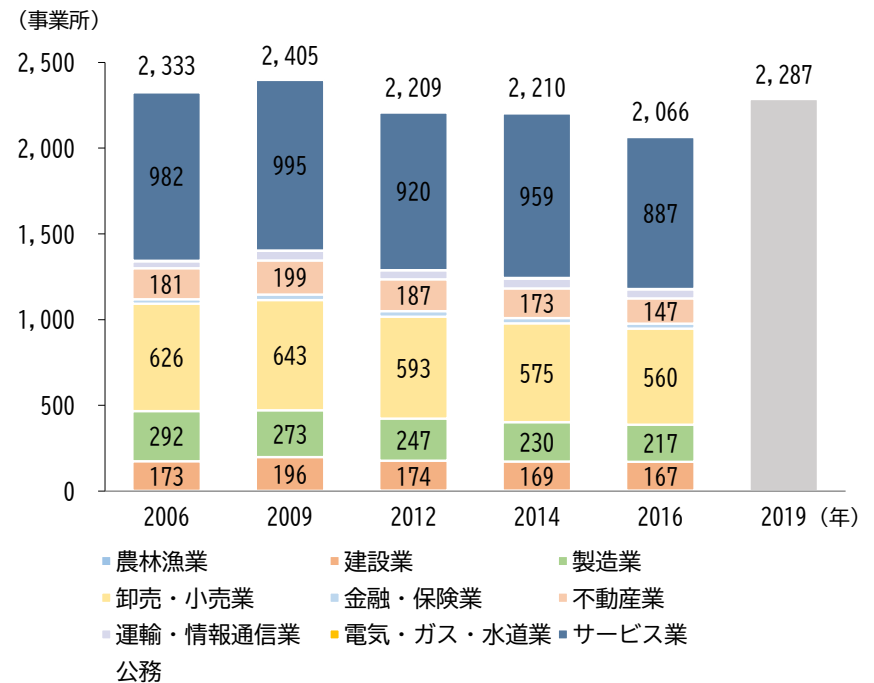


出所：愛知県「愛知県統計年鑑」（各年3月31日現在）

(4)事業者数

事業所の総数は減少傾向にありましたが、2019年は増加に転じています。事業所の内訳として、製造業や卸売・小売業、サービス業が大きな割合を占めています。内訳毎に2006年と2016年を比較すると、製造業が約25%の減少に対し、卸売・小売業とサービス業が約10%の減少となっており、製造業での事業所の減少が目立ちます。

図 事業者数



出所：総務省「事業所・企業統計調査（2006年・10月1日現在）、総務省「経済センサス-基礎調査」（2009年、2014年、2019年・7月1日現在）、総務省「経済センサス-活動調査」（2012年・2月1日現在、2016年・6月1日現在）

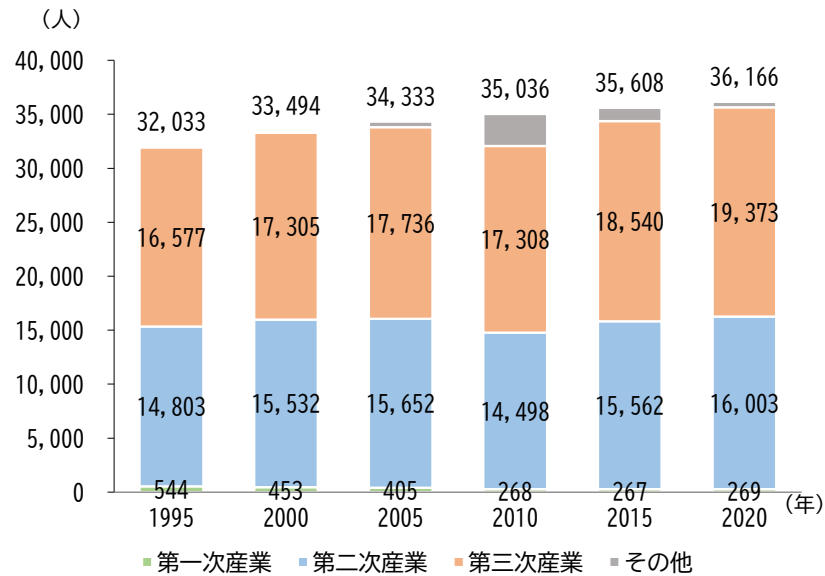
(注) 簡易統計のため公務が調査項目にない年がある。

(注) 令和元年経済センサス基礎調査において、調査事項が一部変更されたため、総数以外の該当数字なし。

(5)産業別就業人口

知立市では、第三次産業、第二次産業、第一次産業の順で就業人口が多くなっています。第一次産業の就業人口が減少傾向にあるのに対して、第二次産業と第三次産業の就業人口は緩やかな増加傾向にあります。

図 産業別就業人口

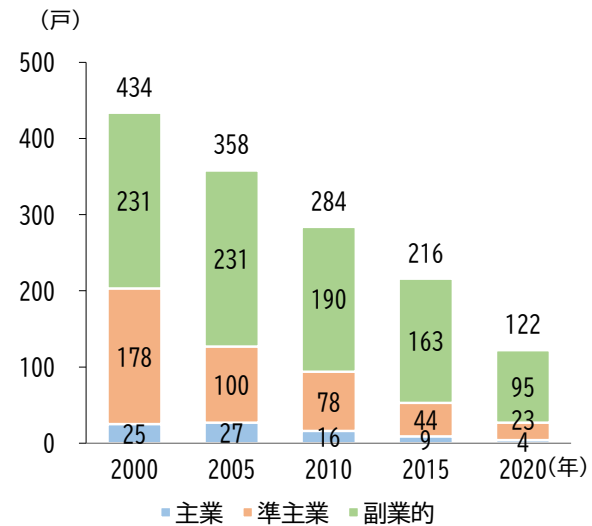


出所：総務省「国勢調査」(各年10月1日現在)

(6)主副業別農家数

知立市の農家数は全体として減少しており、20年間で約4分の1になっています。特に、主業・準主業農家数は2020年では2000年の2割以下となっており、大幅に減少しています。

図 主副業別農家数



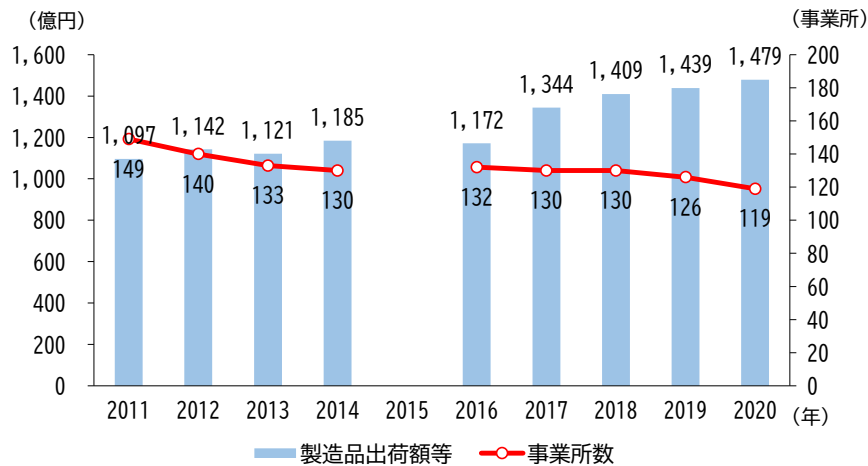
出所：農林水産省「農林業センサス」(各年2月1日現在)

(注) 2020年農林業センサスにおいては、個人経営体の主副業別のみ記載。

(7)工業：事業所数及び製造品出荷額等

製造品出荷額等は徐々に増加しており、2020年は2011年と比較して約1.3倍となっています。一方で、事業所数は緩やかに減少しており、一事業所当たりの規模が大きくなっているといえます。

図 工業：事業所数及び製造品出荷額等



出所：経済産業省「工業統計調査」（2013年、2014年、2017年、2018年、2019年、2020年6月1日時点）、総務省「経済センサス-活動調査」（2011年、2012年・2月1日現在、2016年・6月1日時点）

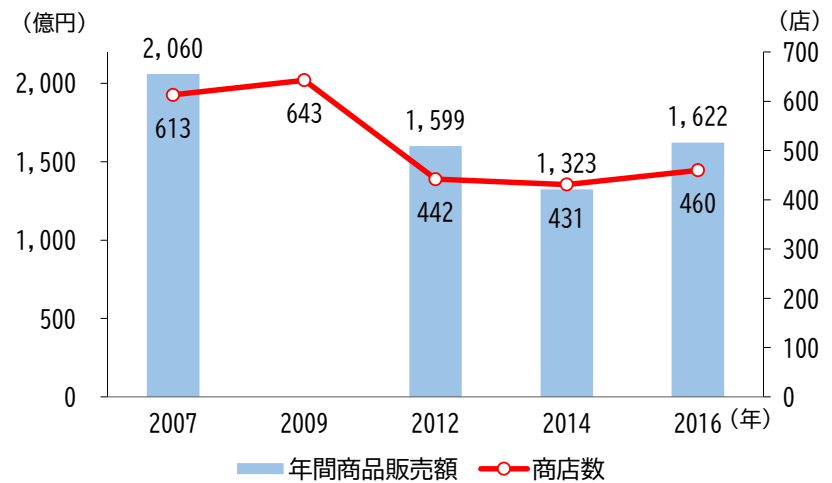
(注) 数値は従業者数4人以上の事業所。

(注) 2015年は該当データなし。

(8)商業：商店数及び年間商品販売額

年間商品販売額は2014年まで減少傾向にありましたが、2016年に増加に転じています。商店数は2009年には600店を超えていましたが、2012年以降は400店台となっています。ただし、2016年は増加に転じています。

図 商業：商店数及び年間商品販売額



出所：経済産業省「商業統計調査」（2007年・6月1日現在）、総務省「経済センサス-基礎調査」（2009年・7月1日現在、2014年・6月1日現在）、総務省「経済センサス-活動調査」（2012年・6月1日現在、2016年6月1日現在）

(注) 飲食店を除く。

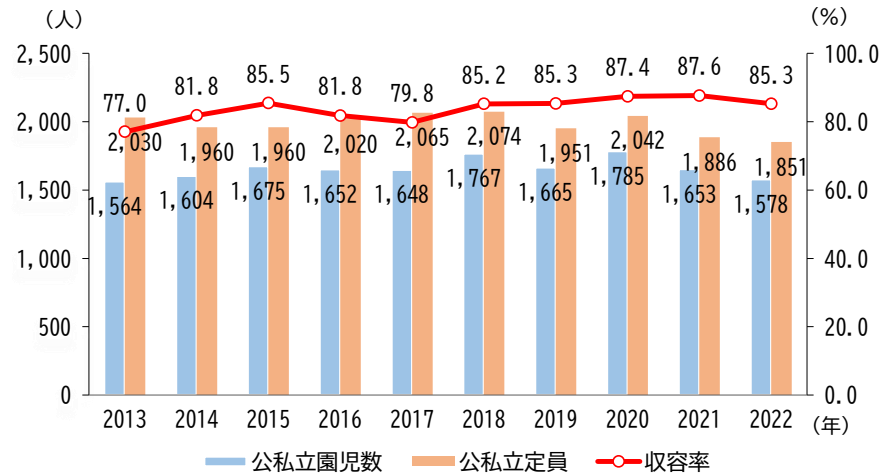
(注) 2019年経済センサス基礎調査において、調査事項が一部変更されたため、該当数字なし。

4-1 子ども・子育て

(1) 保育所の園児数及び収容率

保育所の園児数は2020年まではやや増加傾向にありましたが、2021年と2022年は減少しています。2017年には77%であった収容率は近年85%を超えるようになってきています。直近2年は園児数が減っているものの、収容率は緩やかな低下に留まっています。これは保育所の定員が園児数の減少に合わせて減ったことが影響していると考えられます。

図 保育所の園児数及び収容率



出所：こども課（各年4月1日現在）

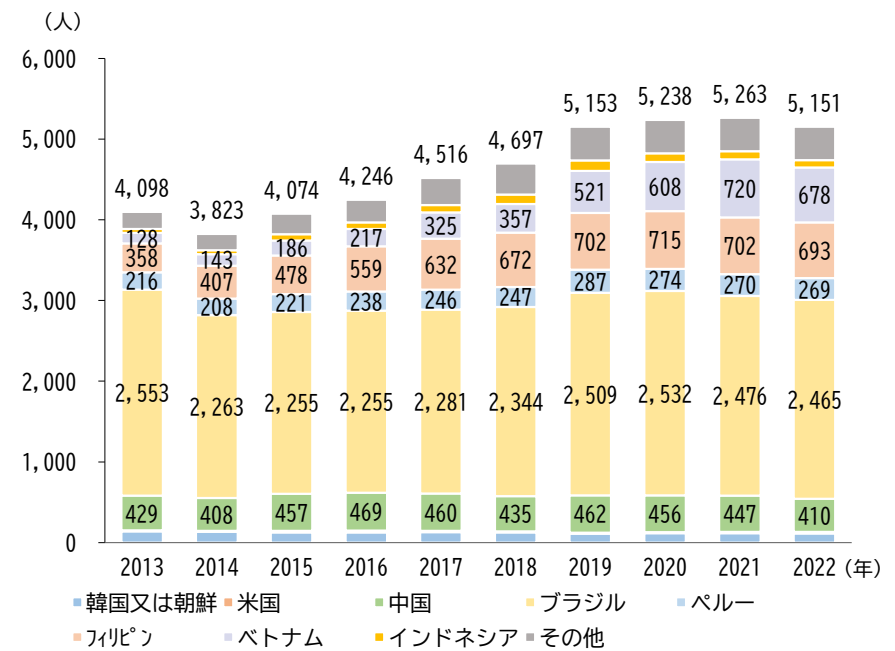
5-1 人権

(1) 国籍別外国人人口

知立市の外国人人口はブラジル人の割合が高くなっています。増減はあるものの、直近10年は2,000人以上のブラジル人が知立市に住んでいます。近年は技能実習制度の影響もあり、フィリピン人やベトナム人が増加しています。

なお、2022年の知立市人口に対する外国人人口の割合は7%を超えています。

図 国籍別外国人人口



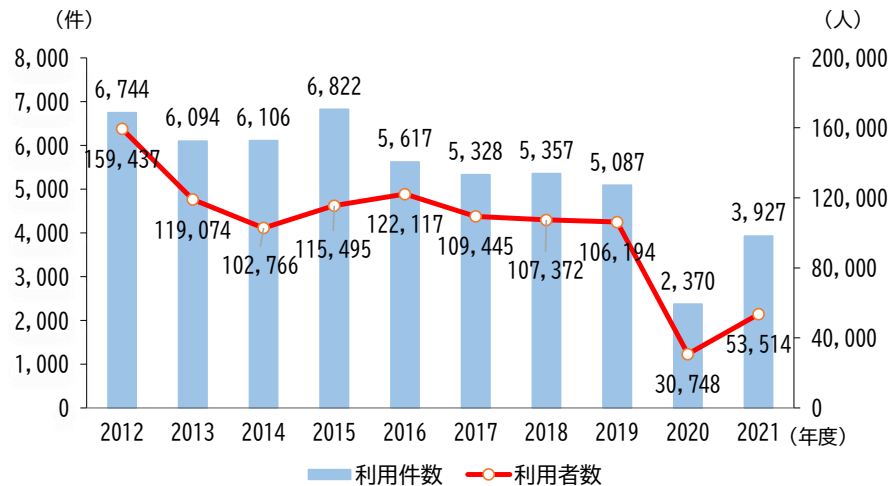
出所：知立市「住民基本台帳」（各年4月1日現在）

6-1 文化芸術・スポーツ

(1)中央公民館の利用件数及び利用者数

中央公民館の利用件数は 2019 年度までは緩やかな減少傾向にありましたが、2020 年度には新型コロナウイルス感染症の影響により、前年の半分程度まで急激に減少しました。利用者数は 2019 年度まで 10 万人を上回ってききましたが、2020 年度以降は前年の 3 割以下まで急激に減少しています。

図 中央公民館の利用件数及び利用者数

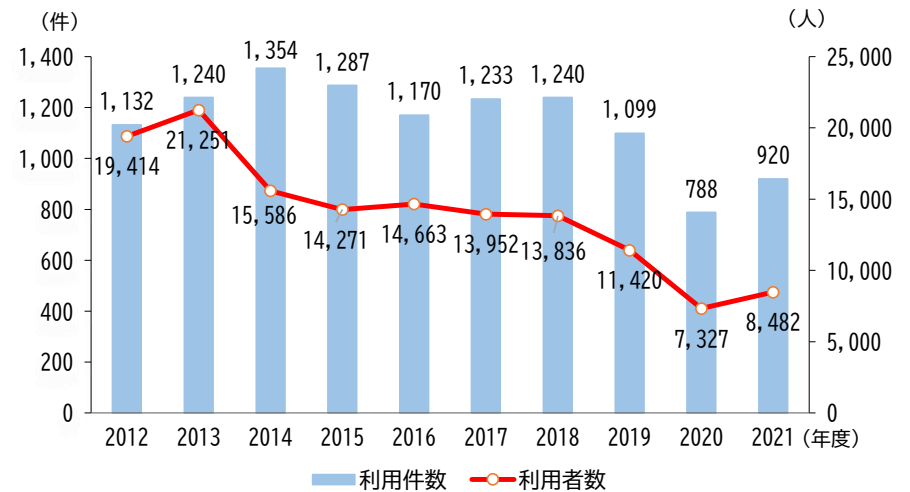


出所：生涯スポーツ課（各年度中）

(2)猿渡公民館の利用件数及び利用者数

猿渡公民館の利用件数は増減がありながらも 1 千件を上回ってききましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で 2020 年度は前年の 7 割程度に減少し、1 千件を下回っています。利用者数は 2013 年度に 2 万人を超えたのをピークに減少傾向にあり、2020 年度は前年の 7 割以下となり、1 万人を下回っています。

図 猿渡公民館の利用件数及び利用者数

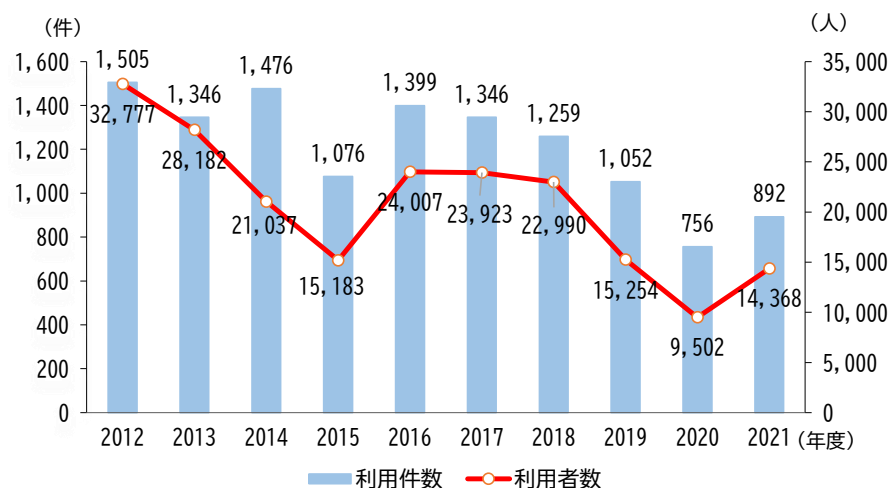


出所：生涯スポーツ課（各年度中）

(3) 知立文化広場の利用件数及び利用者数

知立文化広場の利用件数は 2012 年度には 1,500 件を上回っていましたが、徐々に減少しています。利用者数は 2012 年度には 3 万人を上回っていましたが、2015 年度に 2012 年度の半分程度まで減少しています。2016 年度には増加したもののその後は再び減少しています。新型コロナウイルス感染症の影響により、2020 年度は利用件数が前年の 7 割程度、利用者数は前年の 6 割程度に減少しています。

図 知立文化広場の利用件数及び利用者数

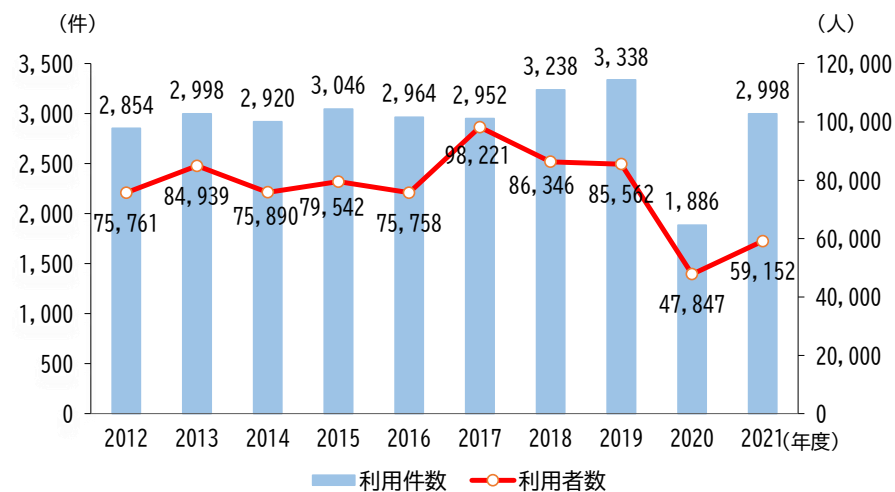


出所：生涯スポーツ課（各年度中）

(4) 市民体育館の利用件数及び利用者数

市民体育館の利用件数及び利用者数は 2019 年度までは横ばいから微増傾向にあったものの、2020 年度には新型コロナウイルス感染症の影響でどちらも前年の 6 割以下に大きく落ち込んでいます。

図 市民体育館の利用件数及び利用者数

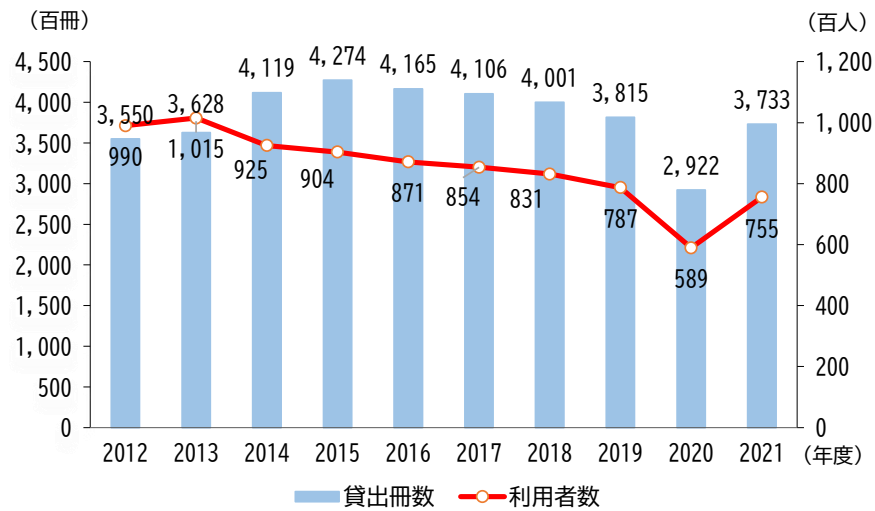


出所：生涯スポーツ課（各年度中）

(5) 図書館の貸出冊数と利用者数

図書館の貸出冊数は2015年度をピークにその後は減少しており、2020年度には新型コロナウイルス感染症の影響で前年の8割以下となったことで、30万冊を下回りました。利用者数も徐々に減少しており、2020年度に前年の8割以下へと大きく落ち込んでいます。

図 図書館の貸出冊数と利用者数



出所：文化課（各年度中）